

報道機関各位

奥久慈しゃも生産入門講座を開講します

「奥久慈しゃも」は、GI登録を受け、県北地域の銘柄畜産物として県内外で流通していますが、現在、高齢化や後継者不足等により生産者の減少が進んでいます。

そこで、「奥久慈しゃも」生産の担い手確保による生産基盤の強化を図ることにより、地域の畜産振興に資するため、「奥久慈しゃも」の生産に興味がある方を対象に、新たな取り組みとして「奥久慈しゃも生産入門講座」を開講します。

当講座では、「奥久慈しゃも」の概要や飼育方法の講義と、「奥久慈しゃも」を生産する鶏舎の見学を行います。

県内各地から多数の受講希望があり、大子清流高校の学生を含め、18名の方々の参加が決定いたしました。

つきましては、当日の状況について取材いただきたく、ご案内いたします。

【主催】 農事組合法人 奥久慈しゃも生産組合、茨城県県北農林事務所
【協力】 大子町

【開催日時・場所】

講義日程		開催場所
令和4年10月5日(水)	講義 10:00～11:35	大子町中央公民館 大子町池田2669
	見学 13:30～15:10	奥久慈しゃも生産鶏舎

【内容等】

○講義

- 『奥久慈しゃもの概要』 講師:茨城県畜産課 鹿島係長 10:30～11:00
奥久慈しゃもの生産の流れや歴史、試験研究、及びGI保護制度等、奥久慈しゃもの概要について説明します。
- 『奥久慈しゃもの飼養方法』 講師:奥久慈しゃも生産組合 高安理事 11:05～11:35
奥久慈しゃも生産者の作業内容について、実際の生産者の視点で解説します。エサ切換えやビタミン剤供与、ワクチン接種のタイミング等のほか、生産者ならではの奥久慈しゃもの生態についての情報をお話します。

○見学

奥久慈しゃもを生産する鶏舎に行き、日齢ごとの奥久慈しゃもの生体を観察します。

【参考】

- 「奥久慈しゃも生産組合(組合長:益子 実津雄)」は、昭和60年設立。「奥久慈しゃも」の生産から販売にいたる全てを管理し、高品質かつ均質で安全な地鶏を供給(現在:県北地域の7名で生産)しています。専用の配合飼料を与えるとともに、ゆとりのある鶏舎で十分に運動をさせるため、低脂肪で弾力のある肉質とコクのある深い味わいがあります。
(特徴:山間の広々した鶏舎(平飼い)で、飼育期間が120日以上)
- 「地理的表示(GI)保護制度」とは、気候や風土などの生産地の特性が品質の特性に結びついている産品を知的財産として登録し、保護する目的に導入された制度。「奥久慈しゃも」は、2018年、地鶏として全国初の登録となった。



「Thank You! いばらき農業」

【問合せ先】

茨城県県北農林事務所 担当:石尾、齋藤
TEL: 0294-87-6680 FAX: 0294-80-3304
E-mail: hokunourin02@pref.ibaraki.lg.jp